

読んだ本

(東京理科大学名誉教授 藤嶋 昭監修 ナツメ社)

## 「すごい科学者のアカン話」

川崎市立宮前小学校五年

やまだ ゆい  
山田 優依

あのカリレオがケンカ屋!? ダーウィンは神  
経質!? 知らなかった!

世間で秀才、天才とよばれる科学者達。その人々には知られざる「アカン」があった。この本を読んで思う事はただひとつ、「マジで?」

この本は学生が知っておきたい、だいたい40人の科学者達について、すごいところもダメなところも笑えるイラスト付きで、あきずに読む事が出来ます。そして発明されたものなども図などでわかりやすく説明してあるため、その科学者についてよくわかるようになっていきます。

ところで、あなたは科学についてどんなイメージをもつでしょう。難しい実験で難しい言葉を使って、とにかく難しいみたいなイメージでしょうか。それとも、変な色の液体を混ぜ合わせ爆発し、髪の毛がもじゃもじゃになるというイメージでしょうか。どんなイメージにしろ私達になじみのないようなものがあると思います。ただ、この一冊でそんな考えはくだけ散り、ふっ飛んでいきます。だってあのエジソンが、野口英世が、あんな人だったなんて到底考えられないですから。やはり完全無欠の人なんていないのです。人はみんなダメなところをもっているのです。しかし科学者たちのダメなところはユニークだけども。こんな面白い「アカン話」を知ったら、科学のイメージは変わっていくと思います。

ぜひ、あの科学者のやばい「アカン」を知っておどろき、ゲラゲラと笑ってください。